

# とおの

## 議会だより No. 32 2013.4

### 主な内容 3月定例会

- ◆市長施政方針演説概要…………… 2 P
- ◆定例会等の概要…………… 3 P
- ◆3月定例会議案審議結果…………… 4 P
- ◆市民と議会との「春の懇談会」開催…………… 5 P
- ◆25年度の新規事業…………… 6～7 P
- ◆政務活動費について…………… 8 P
- ◆研修視察レポート…………… 9 P
- ◆予算等審査特別委員会質疑…………… 10～12 P
- ◆一般質問 9人が登壇…………… 13～21 P
- ◆私のひとこと、編集後記…………… 22 P



小さな手に  
いっぱい  
ありがとう  
メッセージ

巣立ちの3月、市内の保育園・幼稚園では卒園式がおこなわれました。青笹保育園でも高橋園長先生から27名の卒園するひとりひとりに「思い出と期待の暖かい言葉」が添えられ、保育証書が授与されました。

いつのまにか、ぼくたちはひとりであるいてきたよろねんまえに、このよにうまれたこのちいさいのち

はれたひにもゆきのひにもげんきなきもびょうきのときもかわらないやさしいまなさがぼくたちをつんでくれたきがつけばはるのかぜあんなにうたっているよありがとう

こころをこめてありがとうそしてさようなら

ここで、いつしよにあそんだともだちを、ずっとずっとおぼえていよう

たいせつな たからものたくさんのもだち

ありがとう、「感謝する心」を大切に。そして大切な宝物「友達」といつも手をとりあって「一歩一歩進んでください。」



# 平成25年度予算181億2,300万円可決



▲今定例会では市長の施策方針演述が行われました

## 平成25年度遠野市長施政方針演述概要

### 1 TPP交渉に 関する見解

先般の日米首脳会談を受けて、日本のTPP交渉参加に向けた動きが加速しています。

農業の持つ、自然・環境の保全、良好な景観の形成、文化の伝承などの多面的価値を後世に引き継ぐためにも、聖域なき関税撤廃を前提としないとはいえず、具体的な特定品目が明らかになっていない現状においては、反対と言わざるを得ません。

### 2 放射線影響対策

また、平成24年度は、遠野市の市民生活に大きな影響を与えた東京電力福島第一原子力発電所の事故発生により、放射線影響対策に追われた1年でもありました。

汚染牧草処理・草地除染・原木生しいたけのホダ木処理、いずれ

も経験したことのない、専門知識やノウハウがない中での、必死の取り組みでありました。

地域住民の皆様をはじめ、市議会においても特別委員会を立ち上げ、また県やJA関係者の方々にも、「このまま放置はできない」という危機感のもとで行動したが故に、一定の結果を得ることができたものと思っております。

### 3 平成25年度 予算編成概要

さて、平成25年度当初予算は、「託された責任を未来につなぐ」予算として、総額181億2,300万円で編成いたしました。

今後の行財政運営を厳しく見据えながら、全事務事業を見直し、「安全と安心のため」そして「未来につなぐため」の施策を柱

### 4 進化し続ける まちづくり

市政運営を市民の皆様から託され12年になろうとしています。

「遠野らしさ」そして「活力」を維持するためには、市民の皆様とのしっかりと協働の上になり立つ、地域総合力の発揮が必要不可欠であります。

「変わるもの」、「変わらないもの」をぶれずに、しっかりと見据えながら、山積する市政課題に果敢に挑戦し、進化し続けるまちづくりを「ぬくもり」という言葉を大切にしながら「永遠の日本のふるさと遠野」の実現に向け邁進する所存であります。

# 3月定例会

意見書  
請願

平成25年3月定例会  
が3月1日に招集され、  
15日までの15日間の会  
期で開かれました。

今定例会では、市長  
の市政方針演説及び教  
育委員長の教育行政推  
進の基本方針演説があ  
りました。一般質問に  
は9人の議員が登壇し、  
市政を問いました。  
提案された条例12件、  
平成25年度一般会計予  
算、24年度補正予算9  
件、25年度特別会計予  
算等7件、その他3件  
の全32議案を原案のと  
おり可決したほか、発  
議案5件を可決しまし  
た。

## 議員発議

今定例会では、5件  
の議員発議案が提出さ  
れ、原案のとおり可決  
しました。



地方固有の財源である  
地方交付税制度の堅持  
を求める意見書

◆発議案第1号  
遠野市議会基本条例  
の一部を改正する条例  
の制定について

◆発議案第2号  
遠野市議会政務活動  
費の交付に関する条例  
の制定について

◆発議案第3号  
遠野市議会政務活動  
費の交付に関する規則  
の制定について

◆発議案第4号  
地方固有の財源であ  
る地方交付税制度の堅  
持を求める意見書の提  
出について

◆発議案第5号  
「生活保護基準の引  
き下げをしないこと」  
を求める意見書の提出  
について

「生活保護基準の引き  
下げをしないこと」を  
求める意見書

地方の固有財源であ  
る地方交付税を、国の  
政策目的を達成するた  
めの手段として用い、  
国が地方公務員の給与  
削減を強制することは、  
地方自治の根幹に関わ  
る。よって今回のよう  
な措置を行わないこと  
を求める。

【意見書の趣旨】  
国と地方の信頼関係  
を重視する立場から、  
地方との十分な協議を  
経ないまま、地方公務  
員給与に係る地方交  
付税を一方的に削減す  
る今回のような措置を  
行わないこと。

●本来、給与は地方公  
務員法により、個々の  
自治体の条例に基づき  
自主的に決定されるも  
のであり、その自主性  
を侵さないこと。

生活保護基準の引き  
下げは、利用している  
人たちの暮らしをより  
一層大変にし、最低賃  
金や年金、就学援助な  
ど、各種制度にも影響  
する。国民生活の最低  
保障水準の土台をなす  
生活保護制度は、国が  
全額責任を持って保障  
すべきであり、生活保  
護基準の引き下げをし  
ないことを求める。

【意見書の趣旨】  
生活保護基準の引き  
下げをしないこと。  
●生活保護は、全額国  
庫負担にすること。

生活保護基準の引き  
下げはしないこと」  
の意見書提出を求める  
請願

と健康を守る会  
代表者 及川 昇一  
(一部採択)

代表者 高橋 克公  
(不採択)

### 一部採択の理由

「生活保護基準の引  
き下げはしないこと」  
及び「生活保護費の国  
庫負担は、現行の75%  
から全額国庫負担にす  
ること。」については  
諒とするが、「生活保  
護の老齢加算を復活す  
ることについては、平  
成24年4月に、生活扶  
助の老齢加算の廃止を  
内容とする生活保護法  
による保護の基準の改  
定が違法であるという  
最高裁の判決が出され  
ており、司法上も老齢  
加算の廃止は認められ  
たと考えられることか  
ら、老齢加算の復活は  
現実的に難しいと判断  
し、その部分を除いて  
一部採択とした。

憲法第25条において  
は、すべて国民は、健  
康的で文化的な最低限  
度の生活を営む権利を  
有し、国は、すべての  
生活面について、社会  
福祉、社会保障及び公  
衆衛生の向上及び増進  
に努めなければならない  
というたわれている。  
今後この社会保障  
制度を維持するために  
は、国債に頼らない  
しつかりとした財源の  
確保が必要である。  
国では、2013年  
の実質経済成長率を2  
.5%とする見通しを打  
ち出しており、生活必  
需品等への軽減税率の  
導入も含めた3党合意  
の増税決定の中で、今  
後も続く少子高齢化を  
考えた場合、財源確保  
のための消費税率の引  
き上げは、避けては通  
れないものと判断し、  
不採択とした。

## 請願

### 請願第1号

「生活保護基準の引  
き下げをしないこと」  
の意見書提出を求める  
請願

◎請願者 遠野市生活

### 請願第2号

消費税増税に反対す  
る請願

◎請願者 ぐらしを考  
えるネットワーク

# 3月定例会議案審議結果

議案名		賛成	反対
議案第1号	平成24年度遠野市一般会計補正予算（第5号）	全員賛成	
議案第2号	平成24年度遠野市国民健康保険特別会計補正予算（第3号）	全員賛成	
議案第3号	平成24年度遠野市後期高齢者医療特別会計補正予算（第2号）	全員賛成	
議案第4号	平成24年度遠野市介護保険特別会計補正予算（第3号）	全員賛成	
議案第5号	平成24年度遠野市ケーブルテレビ事業特別会計補正予算（第3号）	全員賛成	
議案第6号	平成24年度遠野市農業集落排水事業特別会計補正予算（第2号）	全員賛成	
議案第7号	平成24年度遠野市下水道事業特別会計補正予算（第3号）	全員賛成	
議案第8号	平成24年度遠野市水道事業会計補正予算（第4号）	全員賛成	
議案第9号	遠野市総合食育センター条例の制定について	全員賛成	
議案第10号	遠野市新型インフルエンザ等対策本部条例の制定について	全員賛成	
議案第11号	遠野市市道の構造の技術的基準等を定める条例の制定について	全員賛成	
議案第12号	遠野市準用河川に設ける河川管理施設等の構造の技術的基準に関する条例の制定について	全員賛成	
議案第13号	遠野市情報公開条例及び遠野市個人情報保護条例の一部を改正する条例の制定について	全員賛成	
議案第14号	遠野市福祉医療資金貸付基金条例の一部を改正する条例の制定について	全員賛成	
議案第15号	遠野市営住宅条例の一部を改正する条例の制定について	全員賛成	
議案第16号	遠野市都市公園条例の一部を改正する条例の制定について	全員賛成	
議案第17号	遠野市営駐車場条例等の一部を改正する条例の制定について	全員賛成	
議案第18号	遠野市障害者自立支援法施行条例等の一部を改正する条例の制定について	全員賛成	
議案第19号	遠野市民センター条例の一部を改正する条例の一部を改正する条例の制定について	全員賛成	
議案第20号	遠野市道路占用料徴収条例の一部を改正する条例の一部を改正する条例の制定について	全員賛成	
議案第21号	岩手中部広域行政組合規約の一部変更の協議について	全員賛成	
議案第22号	遠野市の特定の事務を取り扱わせる郵便局の取扱事務及び取扱事務を取り扱う期間の変更について	全員賛成	
議案第23号	公の施設の指定管理者の指定について	全員賛成	
議案第24号	平成25年度遠野市一般会計予算	全員賛成	
議案第25号	平成25年度遠野市国民健康保険特別会計予算	全員賛成	
議案第26号	平成25年度遠野市後期高齢者医療特別会計予算	全員賛成	
議案第27号	平成25年度遠野市介護保険特別会計予算	全員賛成	
議案第28号	平成25年度遠野市ケーブルテレビ事業特別会計予算	全員賛成	
議案第29号	平成25年度遠野市農業集落排水事業特別会計予算	全員賛成	
議案第30号	平成25年度遠野市下水道事業特別会計予算	全員賛成	
議案第31号	平成25年度遠野市水道事業会計予算	全員賛成	
議案第32号	平成24年度遠野市一般会計補正予算（第6号）	全員賛成	



# 市民と議会との 「春の懇談会」を開催します。

## ◆主な内容◆

- 3月定例会報告 ○ 「秋の懇談会」の要望等の対応 ○ 地域課題について

皆さんの貴重なご意見が遠野市をよりよくします。  
奮ってご参加下さい！

### 開催日時および会場

開催日・時間		会 場	担当班
4月23日（火）	午後7時～8時30分	宮守ホールべごっこホール	第1班
		青笹地区センター和室	第2班
		土淵地区センター和室	第3班
4月24日（水）	午後7時～8時30分	上郷地区センター第3会議室	第1班
		小友地区センター和室	第2班
		あえりあ遠野中ホール	第3班
4月25日（木）	午後7時～8時30分	附馬牛地区センター和室	第1班
		綾織地区センター大広間	第2班
		松崎地区センター会議室	第3班

### 担当班の編成

第 1 班			第 2 班			第 3 班		
萩野 幸弘	菊池 由紀夫		瀧本 孝一	佐々木大三郎	多田 勉	菊池 巳喜男		
照井 文雄	瀧澤 征幸		荒川 栄悦	小松 大成	菊池 充	織笠 孝之		
菊池 邦夫	多田 誠一		菊池 民彌	安部 重幸	佐々木 讓	石橋 達八		
浅沼 幸雄								



議会と行政は車の両輪

# 新規事業

## 託された責任を 未来につなぐ予算

25年度の新規事業を、10項目ピックアップして紹介します。



### SL停車場プロジェクト推進事業

JR東日本が今年12月から予定している蒸気機関車の定期運行に合わせ、SLでつながる沿線自治体と連携し、岩手の、そして遠野の観光復興を図ります。

1,555万円



### 再生可能エネルギー設備導入事業

市内中学校2校に太陽光発電システムを導入し、災害時の防災拠点を整備するとともに、市内に導入可能な再生可能エネルギーの調査を実施します。

7,767万円



### 水道ビジョン推進事業

水道ビジョンに基づき、老朽化した水道管路の耐震化を図り、水道設備を整備します。

2,770万円

6億  
2,169万円



### 岩手国体サッカー会場整備事業

平成28年度に開催される岩手国体に向け、サッカー競技会場の整備を進めます。

507万円



### わらすっこの任意予防接種事業

水痘(水ぼうそう)及びおたふくかぜの任意予防接種を集団接種により実施し、接種率を高めることで、発病又は重症化の防止及びその流行の予防を図ります。



えにし  
…百年の縁を  
100年続く絆に…



25年度

615万円



佐々木喜善没後80年記念事業

遠野物語の話者であり、日本のグリムと呼ばれる佐々木喜善の没後80年を記念して、博物館特別展やフォーラムなど、多彩なイベントを開催します。

40万円



道徳教育総合支援整備事業

新たに小友小学校が道徳教育推進校に指定され、道徳教育の質の向上を図ることによって、より良い教育環境の整備を進めます。

200万円



スクラムかみへい復興支援事業

東日本大震災により損壊した住いの復旧・復興のための優良住宅の生産供給や、流通資材の調達などを図るための技術開発を支援します。

7,796万円



旧教育財産施設管理事業

中学校再編成によって閉校する学校施設（小友中、附馬牛中、土淵中、上郷中）を管理し、地域の活性化につながるような施設の活用を推進します。

507万円



第三セクター等経営改革推進事業

遠野市外の有識者で構成する第2次「遠野市進化まちづくり検証委員会」による、人口減少に対応した地域コミュニティなどの検証等や、新たに設立された遠野市教育文化振興財団への運営支援を行います。

# 『政務調査費』が『政務活動費』に変わりました

～平成25年3月改正～

## 【政務活動費とは…】

平成24年地方自治法の改正により、平成25年3月1日から「政務調査費」は「政務活動費」になりました。

政務活動費は、これまでの政務調査費の対象となっていた議員が行う調査研究、研修、広聴広報、市民相談の活動などに要する経費に加え、新たに要請陳情、会議への参加などに要する経費が対象になり、それらの経費の一部として交付されるものです。

この政務活動費を有効に活用し、市政課題及び市民の意思を把握し、市政に反映させる活動並びに市民福祉の推進により、一層取り組んでいきます。



2月28日に開催された市政調査会の現地調査  
(総合食育センター)

【交付額】 議員1人につき、月額5,000円。(年額60,000円)

## 【使途基準】

区 分	内 容
調査研究費	議員が行う市の事務、地方行政等に関する調査研究及び調査委託に関する経費 調査委託費、会費、交通費、宿泊費、保険代等
研修費	議員が研修会を開催するために必要な経費及び団体等が開催する研修会の参加に要する経費 講師謝金、会場使用料、会費、交通費、宿泊費等
広報費	議員が行う活動及び市政について住民に報告するために要する経費 印刷製本費、送料、会場使用料、茶菓子代、消耗品費等
広聴費	議員が行う住民からの市政及び議員活動に対する要望又は意見の聴衆並びに住民相談等の活動に要する経費 印刷製本費、送料、会場使用料、茶菓子代、消耗品費等
要請・陳情活動費	議員が要請又は陳情活動を行うために必要な経費 交通費等
会議費	議員が行う各種会議、団体等が開催する意見交換会等各種会議への議員の参加に要する経費 会場使用料、交通費等
資料作成費	議員が行う活動に必要な資料の作成に要する経費 印刷製本費、コピー代、筆耕翻訳料、消耗品費等
資料購入費	議員が行う活動に必要な図書、資料等の購入に要する経費 書籍、新聞購読料等



総合食育センターに新たに配備された最新鋭の調理機器



**清風会・新興会・  
緑風会  
合同研修視察報告**

清風会、新興会、緑風会、無会派の合計14名は、さる2月7、8日の2日間、宮城県加美町と大崎市において視察研修を行った。加美よつば農業協同組合では、管内75集落のうち69集落で営農組織が設立され、組織率が県内No.1である。その理由として、行政・JA・関係団体によるワンストッププロア化

**遠野一新会  
研修視察報告**

遠野一新会と無会派1名の合計4名は、さる2月14、15日の2日間、宮城県において研修視察を行った。登米市の農業法人伊豆沼農産では、人と自然へのやさしさを求めて「農業を食業に変える」を基本コンセプトに、ハム、ソーセージの加工と、その加工品を提供する食堂や農家直売所があり、総合的

の担い手センターが設立され、集落営農に取り組み場合にネックとなる経理部門を一元センターとして運営し、組織の負担の軽減を図り、組織化に大きく寄り付したのと思われ。その他、震災からの教訓や、目指すべき方向性をしっかりと捉え、参考とすべき点多かった。葉菜わさび栽培園は、宮城県内建設業5指に入る奥田建設(株)が新分野参入モデル事業、農工商連携支援事業を取り入れ、地元農家と連

携し、平成17年12月に開園。当初の作付面積は20アールだったが、以後、順次作付面積を拡大し、現在は約1ヘクタール。付近一帯はセキスイハウスが開発したりゾート地帯で、仙台から1時間余の距離にあり、年間百万人の観光客が訪れるという恵まれた地域。当初は販売に苦労したが、奥田建設というブランドと長年の「人脈と信用力」により、仙台市内の飲食店をはじめとして順調に販路を開拓している。当市



に地域と関わる「農工商」の一貫体制を構築することができた。(有)サンフレッシュ松島では、こだわりのトマト作り、オランダの温室野菜栽培技術を活用した太陽光を最大限ハウス内に確保するため、光の透過率が高い「全面ガラス温室」を使用し、かつ、温室内の「陰」となる面積が最小となるよう温室の骨格材はかなり細いものを使用している。また、「二酸化炭素」については、トマトが活

発に生育できるような濃度になるよう、コンピュータにより常時自動調整をしている。デリシャスファーム(株)代表取締役の今野文隆氏は、トマトを育てること30年以上。デリシャストマトを始めたきっかけは、トマトは栽培時に水分を減らすと甘みが増すことが分かったからだ。生産農家として美味しいトマトを作るだけではなく、商品として販売できる量を育てなければならぬ。とてもデリケートな品種で、おいしさの追求と収量のバランスを得るために、試行錯誤の連続。形も不揃いになりやすく、多くの農家が挑戦しては数年で断念。種子メーカーも積極的に薦めない。それほどこのトマトの栽培は難しかったという。「色々と工夫は必要だが、この土はトマト栽培に向いているし、冬の昼夜の寒暖の差など気候条件もいい。」とのことだった。ここまでこられたのは、同様にトマトづく



戦し続ける姿に触れ、感動しながら研修地を後にした。

ンスに変え、人脈やメディアを上手に利用しながら、可能性があることを実証していると感心させられた。



遠野遺産第9号「山口の水車小屋」

予算等審査特別委員会（議長を除く19人の議員で構成、委員長は菊池巳喜男議員、副委員長萩野幸弘議員）は、条例12件、予算17件、その他3件について付託を受けて7日間の審議を行いました。

今委員会では、24年度補正予算等と25年度一般会計予算等が上程され、活発な質疑が交わされました。その結果、全32議案が原案のとおり可決されました。

**地方交付税の減額による影響は**

**問** 今回の精査により地方交付税、地方特例交付金が1億8,800万円余り減額になったが、昨年同時期の予算は3億1,218万円増になっている。今回の減額による影響を当局はどう捉えているか。

**答** 昨年度の交付税は震災復興特別交付税という事で、通常より多い額が交付されていた。今年度の減額要因は大きく分けて2つある。一つは当初、国からの情報にはなかった部分で、交付税の算定基準が大幅に改訂されたが、その変更を見込んでいなかったこと。もう一つは、交付税の算定において、市税の伸び分を、少なめに見込んだためである。しかし、特別交付税では、震災関連で3月末に増額交付が見込まれている。

**市債管理基金を利用した繰上償還は**

**問** 市債管理基金をもっと利用して市債（市の借金）を繰り上げ償還できないか。このことにより支払い利息の節減になるのでは。

**青年就農給付金活用の実態は**

**問** 青年就農給付金の実績は。

**答** 14経営体を見込んでいたが、遠野在住者5経営体・Iターンが3経営体の計8経営体が交付対象となった。

**8経営体の詳しい地域ごとの受給者の状況は。**

**答** 今後、更にこの制度の周知を図る。

土淵1、青笹1、宮守2、達曽部1の経営体となっており、さらに夫婦での受給者は、綾織、小友、青笹、宮守、達曽部の5経営体である。

**重要文化財・千葉家公有化や今後の管理等は**

**問** 千葉家の公有化、整備活用化事業で1億2,400万円ほどが計上されているが、どの範囲を取得するのか。

**答** 国道396号の道路から上側（東側）の国の重要文化財に指定されている建物や後背の山であり、近接の公葬地や駐車場等の県有地は除かれる。

**公有化後の管理等の見通しについては。**

**答** 公有化後、すぐに工事は始まらない。どのような修復工事をしたらいいか調査や設計協議等もあり、3年ぐらいいの期間と考えているが、当面の間従来通りに公開をする。管理は委託を行なう方向で、今後地域に説明をし

ながら事業を進めていく。

**見学開放していくにあたり、耐震上不安はないか。**

**答** 建物は2年前の3・11の地震には耐えて来ており、大丈夫であるが見込んでいる。石垣を修復した箇所や地盤が下がってきている部分もあるが、見学者に十分注意をしながら工事を進めていく。



公有化される国指定重要文化財の千葉家

食育センター機能を構築すべきでは。

**答** 産直連絡会の会議には農業サイドの職員も出席しており、共通の理解を図っている。

**問** 4月から稼働し、農産物の利用を拡大するのであれば、年間の需要見込みやどの様な食材が必要なのか、品目によっては作付け時期を失うことで食育機能が果たされない可能性があるのでは。

**答** 学校給食センターでは、地元農産物の利用データを品目ごとに取っている。今までの分は今までどおり作付けしていただきながら、今後においては計画的作付けをしていただく考えである。

**新型インフルエンザ等対策本部条例とは**

**問** 未知なるウイルス等に対応した条例ということで、当然、現災害対策本部とのつながりも考慮するというのは当然のこととして、この対策本部とはどういうものか。

**食育センターと農業振興との関わりは**

**問** 農業サイドとの連携を図り、低迷する農業の一助になるような



**答** この組織については、通常のインフルエンザ対策とは全く異なるものである。全国的な感染予防や、感染性の強いウイルスが国内に入らないよう対策を講ずるなどの国家的危機を判断して、国の緊急事態発令により国

県並びに市町村がこの組織を立ち上げるものである。

**問** この条例による行動計画とはどういうものになるのか。

**答** 例えば感染予防ということになると、避難所に集合ではなく、逆に隔離しなければならぬといったことになるため、全く行動内容が変わってくるのが想定される。

**広報等広告料収入の自主財源確保の取り組みは**

**問** 24年度の市ホームページのバナー広告と広報遠野の広告料収入の実績見込みは。

**答** 広報遠野については、2月号で募集をして、3月号から掲載を開始して10万円の収入とな

り、バナー広告は4枠の申し込みで6万円の収入である。

**問** 一昨年12月定例会の一般質問での「出来るだけ早く取り組む」旨の市長答弁から1年以上かかっている。もっと早く取り組み、収入確保を図るべきではなかったか。

**答** 県内33市町村の動向や、遠野市に合う形ということを検討を交わしていたが、24年度内相当数時間を要した。行政は結果であると捉えているが、今後の動向を見極めながら反省点を次につなげ、改良を加えながら取り組んでいく。

**問** 25年度予算は、プライマリーバランスの改善等も含め、前年度比マイナス3.9パーセントの緊縮型で編成された。厳しい財政状況の中で、広告に限らず多方面で自主財源の増や確保への取り組みが必要では。

**答** 自主財源の確保は大変重要な命題であると認識をしている。慎重になり過ぎてタイム

ングを失しないように、この重要な命題に取り組んでいく。

**地域活動専門員の役割は**

**問** 地域活動専門員の配置目的と狙いは何か。

**答** 全国的に人口減少と少子高齢の社会が進行するなか、当市においても地域コミュニティの維持が難しくなってきた。地域活動専門員が地域に足を運び、地域コミュニティの維持・継続と活性化に向けた支援を行う。

**問** 地区センターの人員配置について、当局では正規職員に替えて地域活動専門員を配置する考えではないのか。

**答** 市村合併後、職員の削減に取り組んできた。地区センターへの職員二名配置体制の存続は職員定数管理上、非常に難しい状況にある。地域活動専門員の配置による地域力の維持向上と併せ、地区センターの職員体制も見直しの時期と考えている。進化まちづくり検

証委員会の第二ステージのテーマとして検証をいただき、意見を参考にしながら今後の方向性を見出したい。

**老人クラブのあり方は**

**問** 90行政区に老人クラブは68クラブという現状だが、老人クラブの数の動向は。

**答** 減少傾向にある。やはり、老人クラブ全体の高齢化が進んでいる。リーダー的存在のあるクラブでは活発な活動を展開しているようだが、事務を処理できる人も最近では少なくなっているようだ。

**問** 各クラブ活動の格差は広がりがつつあるのではないか。この事業がこのまま継続されることは、不公平を助長拡大していくことにならないか。老人

クラブの今後の行く末を見据えたあり方を探っていくべきではないのか。



さわやかスポーツ大会の様子

人数で単純に補助金を流すのではなく、活動内容を適正に判断しながら助成するといった方法を新年度に向けて検討していきたい。

**耕作放棄地の解消状況は**

**問** 耕作放棄地を解消するための、勧告指導の実施状況は。

**答** 242.2ha発生し、44.6haに対し指導通知し、耕作が再開された。

**問** 非農地の判定通知が132.3haあり解消された面積は73%の176.9haとなった。

**問** 非農地化となった放棄地の整備は。地目変更し、植林するなど関係課と連携して対処する。

**問** 年に2回開催している。年2回ではまったく少ないと思う。農林水産業に係わる代表者組織であり、根幹の部分と振興策などについて、今後どう議論を進めていくのか。

**答** 現状を踏まえながら、今何が必要なのかをきちんと分析し、意見・要望を真摯に受け止め、政策に反映させるよう取り組んでいく。

**問** 遠野産米「いわてっこ」の生産拡大策は

**問** 遠野産米「いわてっこ」が買入れ業者の需要量に対し農家からの供給量（生産）が不足していると聞くが現状は。

**答** JAでは、「買入れ業者はいくらでも買入れる」と言っているが、農家の作付面積が増えないことから不足している状態である。

**問** 大変もったいない話だ。原因分析と対応策は講じているか。

**答** 明確な原因分析までには至っていないが、

今までは他品種と比較して仮払金が安かったということ、収穫量が多いという話の割に実際の収穫量は少ないことがあげられる。JAでは、「いわてっこ」の作付拡大を計画しており、市でも作付面積を増加させるためにカラムシ対策補助金の加算助成や、収穫量増加に向けた栽培技術指導等を行っている。これらの支援策については集落座談会等、機会をとらえて周知徹底を図っている。

**全国わさび生産者大会に向けた栽培の拡大を**

**問** わさび振興に対する取り組みはどうか。

**答** 現在、わさび生産者協議会に18名加入しており、その中で栽培の拡大に向けた取り組みをしている。

**問** 現在の栽培面積はいくらか。

**答** わさび田の面積は3.5haほどである。

**問** 昨年の議会で、市長は平成26年度島根県



市内の林間わさび

築地市場のわさび競り風景

で開催される全国生産者大会の次期開催地として遠野市に誘致したいと答弁している。しかし、その目標に向かった栽培振興が鈍いのではないかと懸念している。

**答** 全国わさび生産者協議会役員会に遠野市での開催誘致（平成29年）の意向を伝えていく。わさびの生産拡大には湧水が重要であり、栽培適地や生産者の掘り起こしをしながら進めたい。

**問** 湧水を使わない林間わさびの栽培もある。恵まれた環境を活かした遠野わさびの産地形成を図るべきでは。

**答** 岩泉町では原料わさびとして林間わさびを25ha栽培している。わさびバイオ公社でも15aの試験栽培をしているが、原料わさびは需要があることから、アストパワーアップ事業で推進したい。根わさびについても補助での掘り起しを図る。

**問** わさびバイオ公社が努力していることで注目を受けている。ここは攻めていくべきと思うがどうか。

**答** 公社が取り組んでいることを行政も真摯に受け止め、どの様な支援をしたらまだまだ伸ばせるか、しっかりと取り組んでいきたい。

**SL停車場プロジェクトの内容を問う**

**問** 現時点でのメインプログラムは。

**答** 25年度の取り組みとしては、推進本部を立ち上げており、これ

から専門部会を開きながらSL運行に関わるPRを行うほか、商品開発や旅行企画等を考えている。

**問** 遠野市全体が観光資源と思うが、エリア別観光開発の考え方は。

**答** 釜石線沿線の各自治体との連携や、例えば遠野遺産を生かした四季折々の通年企画等を作りたいたいと考えている。

**問** SL停車場の名称にこだわった理由は。

**答** 停車する各駅には沢山の方々に降り立つて頂きたいため。

**問** 釜石線沿線の活性化には陸路も考える必要があるのではないかと懸念している。

**答** SLだけではなく広域的な観光振興の視点でも考えていきたい。



SLを待ちわびる人々

**廃校の学校備品の利用を考えるべきでは**

**問** 中学校統合で使わなくなった机や椅子の今後の利活用方法は。

**答** 新設中学校では東中と西中は新品が入り、遠野中は新品補充のほかに現在使っているものを修理して使う予定。

**問** 余った机や椅子は農作業で使えば効率があがる。農作業等で様々な活用方法が考えられるが。

**答** 沿岸被災地の学校から要望があり、30程度の机、椅子を贈る予定のほか、市内小学校や地域でも使えるように考えている。

**問** 体育用具やステイジ等の備品が重複した場合、地域で活用できると思うが。

**答** その他設備も同様の扱いである。新設中学校で使えるものは持って行き、それ以外は小学校、次が地域といった具合に順番に進めることとし、1学期中にはめどを付けたいと考えている。

**赤羽根スキー場への遠野ケーブル敷設は**

**問** 赤羽根スキー場への携帯電話基地局設置を要望していくことは了解したが、同スキー場には今シーズンも一人くらいの入りがみがあると思われる。一番危惧されるのは緊急時の情報提供ということになる。取りあえずは、遠野テレビのケーブルを同スキー場に持っていくことを急ぐべきではないか。

**答** 問題は通信事業者の選定や協力体制であり、事業者が強力で働き掛けながら、できるだけ早く実現できるようにと考えている。光ケーブル敷設については平成26、27年度と考えているが、市の設備だけでなく、通信事業者と一体となって施設整備したほうがいいのではないかと考えている。今検討している段階で、25年度は通信事業者と連携をより密にし、その辺の方策が早めに行きたい。



## 赤羽根スキー場の 情報インフラ整備は

**問** 3. 11東日本大震災を教訓として、赤羽根スキー場をはじめとする公共施設等に情報インフラを整備すべきではないか。

**答** 公共施設における災害時の情報提供については、昨年の12月から総務省所管の独立行政法人である情報通信研究機構（NICT）

が、当市をフィールドに、「非常時に（つながらず・使える）耐災害ネットワークの実現」のため実証実験を行っており、地区センターなどの拠点施設において市民が緊急情報の入手ができる仕組みづくり等に取り組んでいる。現時点において赤羽根スキー場がユビキタスネットワーク環境に

はないが、赤羽根スキー場、大野平地区のキャトルセンター等重要な施設、スクールバス運行路線などに携帯電話不感地域が残っていることから、防災上、交流人口拡大及び産業振興の観点からも、その解消に向けた基地局の設置要望を進めている。

## 遠野市の教育を今後 どう切り拓くのか

**問** この4月からいよいよ新中学校3校がスタートとなるが、遠野市教育について、今後どのように将来展望を切り拓こうとされているのか。

**答** 再編成に向けて7年が経過した。その間、「学校づくり協議会」及びその内部組織である「学区部会」、教職員による新設中学校運営計画案作成チームと教育委員会が一体

となつて、再編成に係る様々な検討及び協議を行ってきた。  
生徒一人一人への直接指導のあり方などについては、県教育委員会に対して、資格を持つスクールカウンセラーの配置、教員定数を超える加配、学校生活サポート等の県事業による非常勤講師の配

置について要望し、明るい見通しにある。  
また、地域活動や郷土芸能の伝承については、地域との連携を強化するなど、遠野らしい学校運営を進めていくこととなっている。  
【その他の質問】  
行政区域等の見直しをどう進めるのか。



瀧澤 征幸 議員  
(緑風会)

一問一答  
方式



スキー客でにぎわう赤羽根スキーロッジ



佐々木大三郎 議員  
(清風会)

一問一答  
方式

## 農業振興に向けた 取り組み方針は

**問** 農業生産100億円達成アクションプランについて、最近あまり耳にしなくなっているが、今後の取り組み方針は。

**答** 「100億円達成アクションプラン」を引き継いだ計画が現在の「タフ・ビジョン」である。100億円達成は非常に厳しい状況にあるが、今後も生産額に目標値を持ち続け検証と改善策を講じな

がら進めることが大事であり、目標達成に向けて取り組んでいきたい。

**問** 農家の所得向上のためには、遠野産品のブランド化と販路拡大が喫緊の課題と考えるが。

**答** JA系統の販売ルートは市場から卸業者への広域的スケールを生かしたブランド品として販売し、JA系



アストパワーアップ事業の重点品目『ニラ』

統外はわさびやヤマメ等の特産品として販売している。また、アストパワーアップ事業では重点品目(ピーマン・アスパラ・ニラなど)を設け、生産と販路拡大支援を行っているが、これまで以上に生産現場へ足を運び関係機関一体となってブランド化や所得向上に努める。

**問** 市と県・JAの同一フロア化による課題解決や成果向上のためには、三者間の情報共有と連携・棲み分けが重要では。

**答** JA組合長や関係者と定期的に会談し、情報共有や課題解決に向け農業振興策の確認を行っている。JAの営農振興計画についても両者で摺合せを行い、農家に反映・実践でき

るような連携と棲み分けを行っている。

**問** 地域農業マスタープランに関わる遠野型農業の今後の進め方は。

**答** 市と県・JAが連携し「地域農業マスタープラン」作成支援チーム」を立ち上げ、広報遠野や遠野テレビ各種会合、座談会の機会をとらえ制度内容の周知に努めている。また、農家へのアンケート調査により将来の農業経営に関する意向を確認しながら農地の集約や担い手、新規青年就農者の拡大にも努める。

### 【その他の質問】

農業水産業に関わる予算比率は年々減少傾向にあるのでは。





萩野 幸弘 議員  
(緑風会)

一括質問  
方式

## 人口減少の現状分析と 今後の展望は

**問** 当市の人口減少の現状分析と今後の見通し及び展望は。

**答** 当市の人口は合併時年度末の平成18年3月末で外国人を除き32,072人だが、平成24年3月末では29,774人と2,298人減少した。今後の見通しは、国立社会保障・人口問題研究

所の統計によれば平成32年には25,428人と推計されている。なお、当市の平成22年度の合計特殊出生率は1.82で、市では県内一であるが、人口を維持するための値は2.08であることから、決して高いハードルではないと捉えている。無論この問題はこの値だけで解決するも

のではなく、産業振興による雇用の場確保や、子育ての環境整備など、関連施策の効果的な実施等により、人口減少に一定の歯止めをかけたい。

## 教師による 体罰問題の 現状と対策は

**問** 教師の体罰について、当市の現状と対策の有無は。

**答** 平成23年度以前の過去5年間で、県内の体罰による教職員の懲戒処分件数は14件だが、当市に該当する事案は無い。現在市内の全小中学校の教員全てに対し、体罰禁止の指導及び体罰の有無を管理職の面談で個別に確認しており、児童生徒及び保護者にも質問用紙により実態の把握をしている。

**問** 言葉の暴力や無視に関する事案の有無と対策は。

**答** 市内全ての児童生徒に「いじめ」に関するアンケートを実施しており、児童生徒が精神的苦痛を受けていないか把握し、その事案があつた時は校長を中心に適切な対処をしている。

**問** 今後の教育的、指導的悪影響の懸念と対策は。

**答** 教師の日々の指導において最も大切な事は児童生徒との信頼関係を構築することである。教育委員会としても教職員の行動指針を示しながらしっかりと支援・指導していく。

**【その他の質問】**

- 転入者を増やす具体的政策の必要性について
- 既存企業・店舗等への支援対策について
- 復興道路整備を見据えたまちづくりについて



高清水展望台から望む遠野盆地



瀧本 孝一 議員  
(新興会)

一括質問  
方式

## 少子化対策に大胆な結婚等 お祝い制度の創設を

**問** 当市では結婚したカップルや、子供を出産した夫婦に対する「写真立て」の贈呈を  
除き、お祝い金等の制度がないと聞く。少子化対策と若者定住のため、結婚や出産のお祝いとして、全国や県内  
一と誇れる大胆な制度を創設する考えは。

**答** 平成21年度に「遠野市わらすっこ条例」を施行し、わらすっこ基金等も創設して子どもを産み育てること  
に「夢がもてるまちづくり」を目指し、総合的にまちづくりを進めている。このプランの  
ライフサイクルの中で、出会い・結婚・出生・成長・就職、それぞれの  
場面で支援を行っており、新年度からは新たに「わらすっこの誕生  
生応援事業」として、

写真立てに加え金額にして1万円分の「わらすっこ応援券」を配布する。  
“大胆な”という言葉  
葉や事業については行政として及び腰になる部分もあるが、議会側の協力も得て前に進んで行きたい。

写真立てに加え金額にして1万円分の「わらすっこ応援券」を配布する。  
“大胆な”という言葉  
葉や事業については行政として及び腰になる部分もあるが、議会側の協力も得て前に進んで行きたい。

## S Lプロジェクト土木遺産 「達曾部川橋梁」の位置付けは

**問** 本年12月にも運行予定のJR釜石線のS L運行に「S L停車場プロジェクト推進本部」が設置されたが、取組の目的や取組事項に、県内初認定の土木遺産である宮守川橋梁(めがね橋)と達曾部川橋梁(岩根橋)の2つの橋梁のうち、後者だけが全く触れられていない。

**答** 1月中旬に、産業振興部内にプロジェクトの推進室と官民協働の推進本部を立ち上げ、その後、商品開発部会等3つの部会を設置した。今後市内の地

宮澤賢治の『銀河鉄道の夜』のモデルになったといわれる、達曾部川橋梁の土木遺産の価値の位置付けと地域活性化、PRや周辺環境整備、観光客等への対応についての考えは。

1月中旬に、産業振興部内にプロジェクトの推進室と官民協働の推進本部を立ち上げ、その後、商品開発部会等3つの部会を設置した。今後市内の地



宮澤賢治の『銀河鉄道の夜』のモデルとされる達曾部川橋梁(岩根橋)

域資源を見直し、遠野の魅力を見直す各種事業の構築を図って物語の点と点を線で結び、交流人口の拡大や活性化を含め、達曾部川橋梁も貴重な観光資源であることから、観光スポットとしての環境整備やPR等部会で検討を進める。

### 【その他の質問】

○市内小中学校のベルマーク運動の実態について。



## 生活保護基準引き下げによる市民生活への影響は

**問** 総選挙において自民・公明連立政権が誕生した。民主党政権下で検討されてきた生活保護費圧縮の議論は、

自民党の選挙公約でもある生活保護費10%削減と相まって具体化されようとしている。

しかし、生活保護基準の引き下げは、最低賃金や最低保障年金、課税最低限、就学援助制度の認定基準などにも用いられ、生活保護者のみならず広範な市民

民生活に影響を及ぼす生活保護基準を引き下げた場合の市民生活への影響を伺う。

**答** 政府は、生活保護基準の見直しに伴う

他制度への影響について、できる限り影響が及ばないように対応することを方針としているが、当市においても制度の見直しについて注視している。第一は、生活保護水準との整合性を定めて

いる「最低賃金」への影響である。

第二は、生活保護基準額を目安に決める「課税最低限」への影響である。

第三は、「医療保険の自己負担限度額の軽減制度」への影響である。

生活保護費や他制度への具体的な影響については、政府が明確な基準が示された後に改めて検討したい。

## 学校給食におけるアレルギー対策は

**問** 東京都内で学校給食によるアレルギー症状で児童が亡くなるという悲惨な事故が発生した。当市でも総合食育センターがまもなく稼働し、施設設備的には、完璧な体制での給食の供給が始まる。しかし、このような状況の下でも、人為的ミスにより重大な事故が起きないとも限らない、万全の対策を講じるよう求める。

**答** 学校給食は、児童生徒が「食の大切さ」や「食事の楽しさ」など「食育」についての理解を深めるための教材としての役割を担っている。食物アレルギーを持つ児童生徒にあっても、学校給食を

楽しみ「食育」について理解を深めてゆくことは重要である。

アレルギーを引き起こす原因となる食物は多岐にわたっており、

学校給食においてその発症を防ぐためには、「アレルギーを引き起こす原因となる食物を摂取しない」事が重要である事から、必要となる人的体制を整備し対応する。

**【その他の質問】**

○就学援助の現状はどうか。

○学校での放射能・放射線に対する指導・教育はどのようなものか。



小松 大成 議員  
(無党派)

一括質問方式



オープン間際の総合食育センター



石橋 達八 議員  
(無会派)

一括質問  
方式

## 今後の後方支援の取り組みは

**問** これまでの後方支援活動に当たり、手本となる活動記録は大事だが、まずかった点、反省すべき点こそ将来に残し伝えるべきと考えるがどうか。

**答** 独立法人防災科学技術研究所の協力をいただき、官民一体で取り組んだ活動記録の事実整理とともに、客観的な分析による検証を行い、新たな防災指針の参考になるよう取りまとめ作業中である。

**問** 遠野市の観光振興は、被災地復興と連動する。自治体を越えた取り組みを期待するが、どのような取り組みを考えているか。

**答** 教育旅行の需要が多くなっていることから、関係機関団体と広域連携を図りながら、教育旅行誘致に取り組む。また、JR東日本のSL運行は、沿岸被災地の復興、観光振興、交流人口拡大に大きな力になる。遠野市の観

光振興を後押しする環境が整ってきていることから、SL停車場プロジェクト等を中心に観光振興を図り、復興支援の役割を果たす。

## 三校体制に伴う「中一ギャップ」の心配はないか

**問** 遠野市内の中学校が三校体制で船出する。これまでも、小学校から中学校へ進学した際に環境の変化に対応できず、不登校の増加や「いじめ」、何らかの理由で学習意欲が落ち込

み、学力低下となつて現れる「中一ギャップ」が心配されてきた。特に、統合元年の今年も、新一年生のみならず新二年生、新三年生も合流となれば同様の心配がされるが、こうした課題は大丈夫か。

**答** これまで、再編成を踏まえ、新設中学校区ごとに小学六年生の交流、中学校一・二年

の交流等など、計画的に滑らかな接続を図れるよう対策をしてきた。なお、環境の変化による生徒や保護者の不安や動揺を解消するため、岩手県教育委員会に臨床心理士資格を持つスクールカウンセラーの配置や、教員定数を超える加配、非常勤講師の配置等を要望しており、その見直しは明ら

いと考えている。



新設された遠野中学校



## 釜石自動車道開通の影響は

**問** 釜石自動車道宮守・東和間の開通による明と暗をどのように把握しているか。

**答** 暗の部分については、12月議会や今議会でも示しているが、国道283号や107号の交通量が減少し、産直や商店の売り上げが減ったと認識している。明については、高速ネットワークが遠野にも伸び、それに伴って交流人口の拡大が図

られ、観光振興につながる。また企業誘致にも結び付き、雇用の場の確保が図られ、産業振興にもつながると考えている。

**問** 影響を受けた方々の声を聞くと「自分達の力だけではなんともならない」と言う方が大半であるが、市としては暗の部分に対してどのような対策を講じていくのか。

**答** 当市を訪れる方や交流人口の拡大について新たな視点を盛り込んだ創意・工夫が必要であると認識している。具体的には、めがね橋周辺の環境を整備し情報発信の核とするとともに、多くの利用者が集まる方策を検討する必要がある。そのため平成25年度においてめがね橋周辺の施設改修を含めた調査及び設計業務を実施し、関係機関・団体と協議しながらあるべき姿を模索していく。



浅沼 幸雄 議員  
(新興会)

一問一答  
方式

## 男女共同参画への取り組みを問う

**問** 男女共同参画社会基本法が制定されてから現在までの当市の取り組みと今後について伺いたい。

**答** 市では平成16年3月に旧遠野市民憲章に基づき「男女共同参画社会」を視点とした新しい遠野市民の姿、社会のあり方を目標に「と・お・のいきいき」を。市では平成16年3月に旧遠野市民憲章に基づき「男女共同参画社会」を視点とした新しい遠野市民の姿、社会のあり方を目標に「と・お・のいきいき」を。市では平成16年3月に旧遠野市民憲章に基づき「男女共同参画社会」を視点とした新しい遠野市民の姿、社会のあり方を目標に「と・お・のいきいき」を。



横断道の開通で閑散としている道の駅



菊池巳喜男 議員  
(清風会)

一括質問  
方式

## 中学校再編後における 学校施設や跡地の活用は

**問** 今年4月、市内中学校8校が3校に再編され、新たなスタートとなる。再編後の学校施設や跡地利用の現状はどうなっているのか。

**答** 地域とともに歴史を刻んできた中学校は、コミュニティの中核として役割を果たしてきたので、地域の活性化につながる形で活用を

図るという意味合いから、ハード面の環境整備は、行政が中心となって行うべきと考えている。今後、地区懇談会を開催し、地域の同意を得られた活用策を優先し、改修工事に向けて設計等の具体的な整備に着手していく。事業内容は、行政が行うべきもの、地域との協働により組み立て

いくもの、地域が自主的に行うものがあると考えている。

## 釜石自動車道の 現状と課題は

**問** 釜石自動車道東和・宮守IC間が開通し3か月が経過したが、宮守IC付近の整備が引き続き行われている。今後、遠野ICまでの工事の加速が見込まれるが、開通に向けての進捗状況は。

**答** 4カ月早い開通となったが、国道107号の改良工事や市道の切り替えや住宅の出入り口等は地元と協議の上、継続工事中である。また、遠野ICまでの工事進捗状況は、事業



昨年11月に開通した宮守インターチェンジ付近

費ベースで65%となっている。高速道に接続する来年度の工事では、国道283号に接続する主要道の猿ヶ石川を越す橋梁等が整備されて行く。また、中心市街地に通じる県道のアクセスで、下組町のクランク箇所の難所があり、調査費を計上し取り組む。

**問** 宮守IC付近のSA的な対策、特にトイレ問題が以前からあるが、対策はどうなっているのか。

**答** 国土交通省と協議検討をしている。近くには、「産直ともちゃん」もあり、この施設でも活用を考えているが、24時間対応のトイレには改修工事が必要であり、速急に市としても対応を考えている段階である。しかし、この整備にあたっては、浄化槽の入れ替えや建物の増改築もあり、財源のめどが立ち次第、整備したい。

※ICとは…インターチェンジの略称。SAとは…サービスエリアの略称。





照井 文雄 議員  
(清風会)

一括質問  
方式

## 釜石道遠野IC付近への サービスエリアの設置は

**問** 道の駅「風の丘」を移設し、釜石道のSAの機能を持つ道の駅にすべきと思うが当市の考えは。

**答** 昨年釜石道宮守IC開通に伴い、人や物の流れが大きく変わった。平成27年度には遠野IC開通によって道の駅「風の丘」の入込

数や売上等への影響も懸念されることからプロジェクトチームを設置し機能充実を図り、遠野IC付近への移設については、今後の道の駅の有り様を検討するひとつの選択肢と考えられるので、可能性についても議論をしていく。

## SL 停車場 プロジェクトとは

**問** 本年12月から始まるSL運行に合わせた土産品やグッズの開発等について、経済効果の拡大に努めて欲しい。SL停車場プロジェクトの役割、取り組みとは何か。

**答** このプロジェクトは官民で推進するため、市長が本部長となり、観光協会、商工会、遠野駅、ふるさと公社、遠野・みやもりの両商業開発、道の駅「風の丘・みやもり」等11団体、副市長、関係部長5名、計18名で構成されている。3つの部会を設置して、当市の観光振興、中心市街地の活性化、宮守町の地域振興等につなげる。

## 防災センターの未来型とは何か

**問** 災害時の取り組みや対応の説明だけでなく、防災用品の展示や当市の取り組み、防災セミナー等を行う「未来型」の防災センターにするべきと思うが当市の考えは。

**答** 市民の生命を守るための防災知識、技術の習得ができる教育と人材育成の場、災害情報提供のネットワーク等、いろいろな機能を併せ持った広域連携拠点として新たな活用を図り、他機関とも連携し、災害に強い安心安全な地域づくりの拠点を進める。



田園風景の中を走るSL

# 議会への提言をお待ちしております

## わたしの ひとこと



岩本 美香さん  
(綾織町)

このコーナーは、市民の皆さまのまちづくりの夢や希望などを掲載しています。掲載希望される方は、お気軽に当事務局までお申し出ください。

### 六次産業への挑戦

私の住んでいる地域は石上山の麓にあります。私は2児の母親ですが、子育てをする中で、子供たちに手作りお菓子を食べさせてきました。

そのお菓子作りを通して、地域で採れたブルーベリーや野菜を、ジャムやお菓子に加工して販売していきたいと考えているようになりました。生産加工・販売を融合し六次産業化への挑戦をしています。また、お客様のご要望に

添ったオーダー制のお菓子やケーキなどの提供もしていきたいと考えております。

子育てをしながらの仕事となり、なかなか思うようにならない事もありますが、継続的にやれるように家族や地域の方々の協力を得ながら進めていけたらと思っています。今は支援金を活用し加工場を作り、開業の準備をしています。販売は、地元の産直「結和」等でおこなう予定です。

## 新企画

### とおの議会だよりクイズ

Q 次の問題に答えてください。

**その①** 平成25年度遠野市の総額予算は181億2,300万円。この予算に付けられた副題は。

**その②** 25年度から、市内中学校が統廃合されました。さて、何校から何校に統廃合されたでしょうか。

**その③** 遠野物語の話者であり、日本のグリムと呼ばれる佐々木喜善は今年で没後何年でしょうか。



この議会だよりの中に答えがありますので、最初から最後まで読んでみてください。

### 《応募方法》

クイズの答え・氏名・年齢をお書きのうえ、ハガキでご応募ください。

議会だよりを読んだ感想や、議会へのご意見等もお書き添えください。ご意見等は、「市民の声」のコーナーで、できるだけご紹介させていただきます。

正解者の中から、抽選で3名の方に図書カード1,000円分をお贈りします。(当選者の発表は次号に掲載)

### 《あて先》

〒028-0392  
遠野市宮守町下宮守29-77  
遠野市議会事務局 宛

《しめきり》平成25年4月30日  
(当日消印有効)

## 編集後記

今月から、中学校8校が再編成され3校に。各学校の先生、生徒そして保護者の方々にとって、戸惑いや新たな課題も予想される。学校生活が円滑に営めるよう、教育委員会の積極的指導等に期待し、我々市民もオール遠野で応援していく。

新年度予算の副題は「託された責任を未来につなぐ予算」。地方交付税が削減され緊縮財政となる中、市長は「行政は継続である」と、力強く答弁した。今回から議会だよりの紙面を、5段組みから6段組みに変更。最終ページにはクイズコーナーを新設。より見やすく、親しみやすい紙面とする試み。果たしてその反応やいかに。(瀧澤)

### 【広聴広報常任委員会】

委員長 瀧澤 征幸  
副委員長 菊池 由紀夫  
委員 佐々木 大三郎  
委員 多田 勉  
委員 瀧本 孝一  
委員 萩野 幸弘

お悔み…3月21日に急逝された太田隆宏文化課長のご冥福をお祈りいたします。

